



「ほら、入れるぞ……」

「ち、違います……そんなことない」

「こんなに濡らして、本当はずっとしたかったんだろっ？」

「おおっ、先輩っ……」

「んっ、あっ……せ、先輩……っ」

「アハハ……た、可愛らしいお嬢さん」

「だ、だって……こんな場所で、」

「こんな……恥ずかしい……っ」

「でも気持ちいいだろ？
大丈夫、誰も来ないから」

「はっ……んっ……っ」



「ふあ……先輩の、私の中に
入ってきてますね……」

「ほあ……んっ、うおへの中、
温か〜と気持ちいいから……」

「あっ、あんっ……私も……気持ちいい
頭が真っ白になっちゃう……」



「もぅっ、ダメですっ、声出ちゃうっ
あっ……ああん……!」

「やあつ……深りとこるまで……
気持ちいいですっ……!」

「もっと感じさせてあげるよ。
しずくがイクまで……!」

「はいっ、はあ……せ、先輩っ……
好きです……♡」



「はぁ……はぁ……せ、先輩……」

「もう我慢できなくなっちゃった……」

「はぁっ、もう、限界ですっ……」

「はぁっ……俺も限界だよ、」



「アイキますっ……！イクっ……！
あぁっ……！！！」

「あぁっ、しずくの中に全部注いでやる……っ」

「ぶあつ……! あんっ……!
あつりのがたくさん入ってきてる……!」

「はあ……はあ……良かった……
本当に気持ちよかったよ……」

「はいっ、私も先輩とするセックス、
本当に大好きです……♡
あっ、こんなに溢れ出ちゃってます……♡」

「あ、うぐへの締め付けが気持ちよかった
我慢できなかったんだ……」

「先輩、大好きです……♡
これからずっと一緒に居てくださいね♡」



「あっ、あっ、あっ！」

「ほら、入れるぞ……」

「ち、違います……そんなことない」

「こんなに濡らして、本当はずっとしたかったんだろっぴー」

「……先輩……」

「んっ、あっ……せ、先輩……っ」

「アハハ……た、可愛らしいお嬢さん」

「だ、だって……こんな場所で、」

「こんな……恥ずかしい……っ」

「でも気持ちいいだろ？」

「大丈夫、誰も来ないから」

「はっ……んっ……っ」



「あつ、あつ……私も……気持ちよ……
頭が真っ白になっちゃうわ……」

「ふあ……先輩の、私の中に
入ってきてますね……」
「ほあ……んっ、うおへの中、
温か……気持ちいいわ……」



「はぁ……はぁ……せ、先輩……」

「もう我慢できなくなっちゃった……」

「はぁっ、もう、限界ですっ……」

「はぁっ……俺も限界だよ、……」



アイキますっ……！んっ……
あ………

「あ………」
注目の中全部

「あ………」
あ………

「はあ……はあ……良かった……
本当に気持ちよかったよ……」

「はいっ、私も先輩とするセックス、
本当に大好きです……♡
あっ、こんなに溢れ出ちゃってます……♡」

「あ、うぐっの締め付けが気持ちよ……
我慢できなかったんだ……」

「先輩、大好きです……♡
これからずっと一緒に居てくださいね♡」



























